

あ た み え き し ゅ う へ ん

熱海駅周辺

伊豆半島の玄関口にふさわしい風格と、
にぎわいのあるまちなみ



① 熱海駅前にある家康の湯(足湯)



② ジャカランダが咲く遊歩道



③ あたみ桜と海のコントラスト

所在地	熱海市田原本町11-1 他
面積	約34ha
施設	熱海駅、熱海駅前広場、家康の湯(足湯)、お宮緑地(ジャカラダ遊歩道)、熱海サンビーチ、旧日向別邸
アクセス	東京駅から新幹線で約50分、静岡駅から新幹線で約35分

地形

熱海市は、西部に連なる富士箱根伊豆連山から相模湾に幾筋にも伸びている尾根の谷間の扇状地に市街地が形成され、山と海に囲まれるという特徴的な地形構造を有しています。

熱海駅は、その丘陵地の中腹にあり、海岸までは高低差があります。その高低差があることにより相模灘や沖合約10kmには初島を臨め、海岸からは市街地とその背後に広がる緑の稜線を眺めることができます。

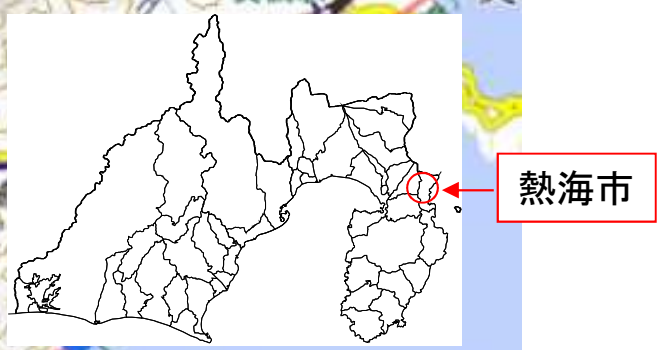
歴史

明治中期に道路整備が行われ、軽便鉄道(人力車)での往来が可能になりました。大正14年3月には国鉄熱海線が開通し、現在の位置に熱海駅が誕生し、熱海～東京間が大幅に短縮されることになりました。また、昭和9年に熱海・函南間に丹那トンネルが開通し、熱海駅は東海道本線の駅となりました。昭和39年10月1日には、東京オリンピック開催に合わせて東海道新幹線が開業され日本を代表する温泉保養地へと発展しました。

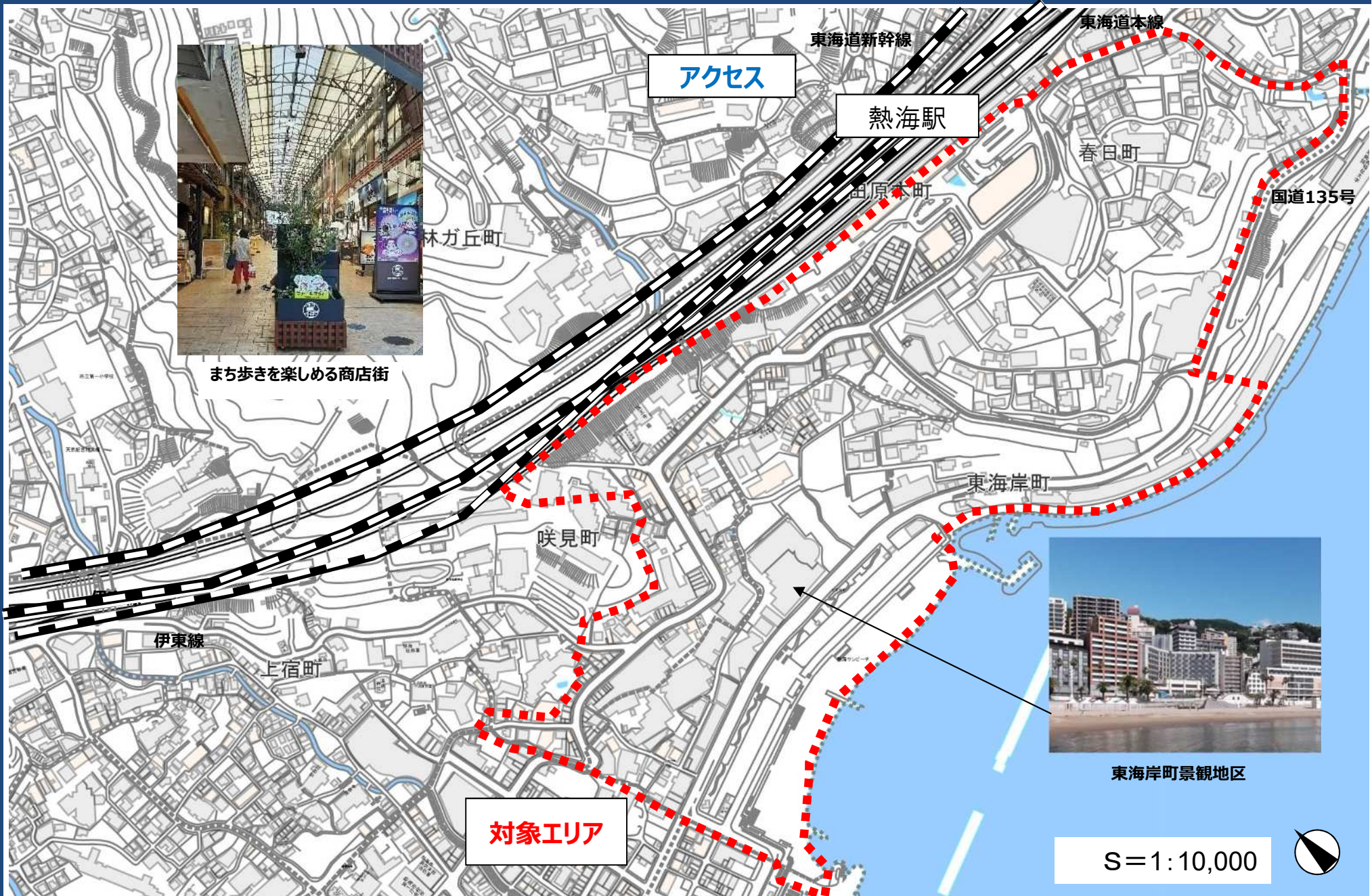
観光

熱海駅周辺エリアは、JR東海道本線、JR東海道新幹線、JR伊東線が乗り入れる熱海駅、そして海沿いには国道135号が走り、首都圏からの旅行客をはじめ多くの観光客が訪れる伊豆の玄関口となっています。

2. 対象エリアの位置図



2. エリア図



① 熱海駅周辺

(1) 散策

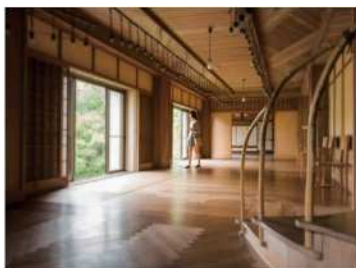


熱海駅から海へと続く散策路

熱海駅から海岸までは、いくつかのルートがありますが、駅から海岸までは、階段や勾配のある坂道等を通らなければ行くことができません。しかし、県道を通るルート、街なかの階段を通るルート等、その日の目的、気分でルートを変更するのも楽しみの一つで、高低差があることで、ルートのいくつかの場所では海を臨むことができます。

階段、坂道の雰囲気づくりや利活用が必要です。

(2) 文化



旧日向別邸、東山荘

熱海駅から東側の小高い丘には、アジア貿易で活躍した日向利兵衛が別邸の離れとして竣工した旧日向別邸は、ドイツ人のブルーノ・タウトが設計した日本で唯一現存する建築で重要文化財となっています。また、隣接する東山荘も第一銀行頭取であった石井健吾氏の別邸として国有形文化財となっており、戦前期における熱海の別荘開発の余韻が残る地区となっています。

歴史的背景を意識した景観への取り組みが必要です。

(3) 商店街



まち歩きを楽しめるまち

熱海駅からつながる平和通り商店街と仲見世通り商店街は、昭和9年の丹那トンネル開通により、熱海駅の利用客の急増とともに発展してきました。商店街にアーケードを設置することで、天候に左右されずに歩くことができ、熱海を訪れた人たちが歩いて楽しめるエリアとなっています。

楽しみながら歩くことができるまちづくりを推進するため、看板や修景デザインのルール化が必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・玄関口にふさわしい駅前看板のルールの再検討
- ・駅と海岸を結ぶルートについての検討

② 非日常の雰囲気づくり

(1) 自然



非日常の雰囲気のリゾート空間

熱海駅から歩いて行ける熱海サンビーチは、白い砂浜、青い海、立ち並ぶホテルやマンションにヤシの並木通りがあり、早朝に水平線からのぼる朝日がビーチや街を染める美しい景色を見ることができます。夜になると、世界的な照明デザイナー石井幹子氏が手がけた日本初のビーチのライトアップが毎日行われ、幻想的な景色が楽しめ、リゾートの雰囲気を感じる空間になっています。夏は海水浴場として大変にぎわいますが、夏以外も砂浜を歩いたり波と戯れたりできる場所でもあります。また、天気良ければ初島や大島などを眺めることができます。

訪れる方を魅了するような施設の適切な管理を、継続していく必要があります。

(2) 景観



東海岸町景観地区

熱海サンビーチの背後地である東海岸町は、平成19年に東海岸町景観形成地区として指定され、色彩の制限や建物の高さ、意匠を制限することで、熱海の顔となる景観として背後地からの海への眺望の確保に努めるよう方針を定めています。

今後も適正な指導を行うことで、良好な景観となるように取り組む必要があります。また、関連する道路等の公共施設のデザイン向上や熱海サンビーチと一体となった景観向上により、更なる地区のイメージアップが期待されます。

〈景観形成の主な課題〉

- ・散策途中で眺望を楽しむことができる視点場や休憩施設の不足
- ・地形を活用した地域資源の発見

伊豆半島の玄関口にふさわしい風格と、 にぎわいのあるまちなみ

地域住民の視点

- ・視点場の再検討
- ・駅から海までのルートに休憩施設の設置
- ・温泉場や湯けむりを大きく感じるまち
- ・非日常を感じられる空間
- ・リゾート地を感じる景観
- ・住みたいまち、住み続けたいまち
- ・熱海らしい観光地づくり

有識者の視点

- ・階段、坂道などの利活用
- ・坂道の修景にも配慮(石畳や石張りにするなど)
- ・インフラを整備することも重要
- ・空間要素を活かす
- ・屋外広告物のルールの見直し

目標 1

好感を与える魅力的な
玄関口づくり



景観づくり方針

- ①魅力的な駅前空間
- ②歩いて楽しい温泉街の創出

目標 2

熱海駅と海岸を結ぶ歩いて
楽しいルートづくり



景観づくり方針

- ①統一的なまちなみの創出
- ②坂道を活かした景観づくり

対象エリアへの入口・アクセス部における景観形成

目標1 好感を与える魅力的な玄関口づくり

方針1-① 魅力的な駅前空間

	取組み	実施主体
短期	①熱海駅前広場の適切な維持管理 ②案内看板の多言語化 ③駅前看板のルールの再検討 【屋外広告物やサインを設置する際は眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えないようにする】	●市、事業者 ●市 ●市、事業者
中・長期	④送迎バス、一般車の混在による渋滞の解消 ⑤イベントスペースの確保 ⑥地下道の利活用	●県、市、事業者 ●市、事業者 ●市、事業者

方針1-② 歩いて楽しい温泉街の創出

	取組み	実施主体
短期	⑦駅前足湯の維持管理 ⑧歩行空間の維持管理 ⑨案内マップ等の作成 ⑩空き店舗、空き家の利活用(空き家の利活用に対する支援、ガイドラインの作成など)	●市 ●市、事業者 ●市、事業者 ●市、事業者
中・長期	⑪駅舎・駅前広場の施設(足湯含む)拡充と景観の向上 ⑫古いビルの再生(利活用、リノベーション、再建築など)の検討 ⑬回遊を促進する整備(舗装、街灯、サインの統一及び休憩施設、視点場の設置など) ⑭歩道のバリアフリー化(歩道の段差の解消など) ⑮空き店舗、空き家の利活用(ガイドライン等に基づく施策推進)	●市、事業者 ●事業者 ●県、市、事業者 ●県、市 ●市、事業者

目標2 熱海駅と海岸を結ぶ歩いて楽しいルートづくり

方針2-① 統一的なまちなみの創出

	取組み	実施主体
短期	①⑥東海岸町ホテル新築工事に伴う周辺道路の整備 【建物や工作物等、施工対象の色彩及びデザインは周囲の景観を引き立たせるために、それ自体が目立つものとなっていない】	●市、事業者
中・長期	①⑦サイン、舗装、街灯等のデザインを統一した整備 ①⑧夜の散策も楽しめる歩道、夜間照明の整備 ①⑨利用者に合わせたルート(階段コース、スロープコースなど) 整備	●県、市 ●県、市 ●県、市

方針2-② 坂道を活かした景観づくり

	取組み	実施主体
短期	②⑩細い道、坂、路地裏の利活用 ②⑪ルートの設定(ルートの名称づけ) ②⑫ルート沿いへ、カフェ等のお店の誘致	●市、事業者 ●市、地域住民 ●市、事業者
中・長期	②⑬細い道、坂、路地裏の修景(美装化、案内サインの設置、沿道の看板、建築物の景観の誘導) ②⑭東駐車場の利活用の検討 ②⑮東駐車場、お宮緑地、熱海サンビーチ周辺の施設拡充及び景観整備 ②⑯視点場の整備(日よけ、ベンチの設置など) ②⑰休憩施設の整備(日よけ、ベンチの設置など) ②⑱坂のある地形を活用した地域資源の発見(階段などの修景、お店の誘致など) ②⑲文化施設の整備及び周辺道路の整備(旧日向別邸、東山荘)	●市 ●市 ●市、事業者 ●県、市 ●県、市、事業者 ●市

7. 景観施策(案)のイメージ図

